



鹿児島市中央卸売市場魚類市場市場棟新築本体工事（2工区）[鹿児島県]
※PC躯体工事

第74期 中間株主通信

2021年4月1日～2021年9月30日

 株式会社 ピーエス三菱

証券コード：1871



Top Message

代表取締役社長 社長執行役員

森 拓也

■ 当第2四半期の事業環境と業績概況について

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により悪化した景気が製造業や輸出を中心に堅調に推移し持ち直しつつあるものの、活動制限による雇用環境や個人消費の本格的な回復には至っておらず、一部で力強さを欠く景気動向となっております。今後、ワクチン接種の進展によって早期の個人消費回復も期待され、下半期にかけては景気回復のペースが加速していくといった予測もあり、徐々に日本経済復調の兆しも見え始めております。

当社グループが属する建設産業においては、コロナ禍での民間設備投資の停滞により建築工事の熾烈な受注競争が顕在化しているものの、気候変動に起因する甚大な自然災害に対する国土強靱化対策や老朽化したインフラ整備等の建設投資は依然として底堅い状況にあります。

このような経済状況のもと、当社は「中期経営計画2019」の基本方針・戦略に基づき、持続的な企業成長を目指してまいりました。受注高については566億64百万円（前年同期比0.9%増）、売上高は537億51百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は39億87百万円（前年同期比38.5%増）となりました。

■ 今後の取り組みについて

当社グループを取り巻く事業環境は、未曾有の感染症パンデミックを受け、多様な働き方への対応やDX活用による様々な部門での技術開発等が求められる大きな転換期にあると認識しております。

このような環境下において、当社グループはプレストレスト・コンクリート（PC）業界のトップカンパニーとして建設事業を通じて国民が安全で安心して生活できる社会インフラを提供し、社会の期待や要請に真摯に応えてまいります。今年度においても、「中期経営計画2019」の基本方針・基本戦略を着実に実行し、戦略テーマである「さらなる収益基盤の強化と変革による成長分野（大規模更新・メンテナンス・PC建築・海外事業）の拡大」の実現に向けて取り組んでまいります。

さらにIoTやICTの活用による生産性向上に果敢に取り組み、働き方改革を実現しながら全ての従業員が働きがいを実感できる魅力ある企業を目指してまいります。

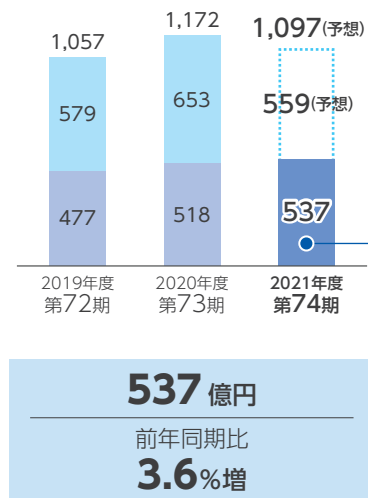
株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

大きく変化する事業環境において 大規模更新・修繕事業を軸に 成長分野でのさらなる収益性の強化に 努めてまいります

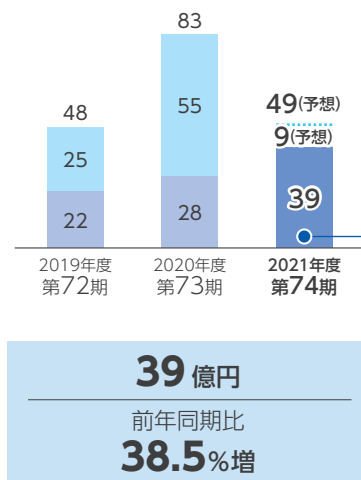
■決算ハイライト

(単位：億円)

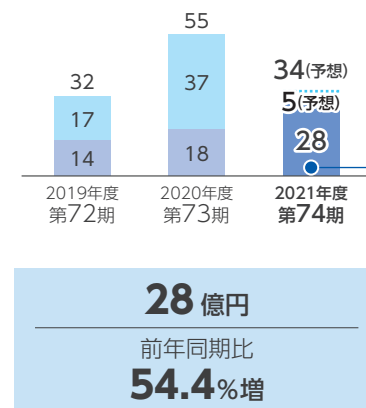
連結売上高



連結営業利益



連結当期純利益*



■ 上期 ■ 下期

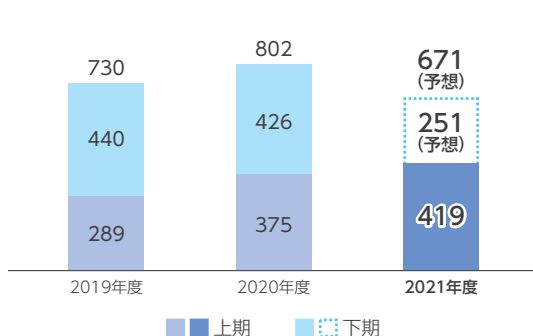
*連結損益計算書上の「親会社株主に帰属する当期純利益」

※本誌に記載されている業績予想は、作成時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。
※億円以下は切り捨てで集計していますので、合計に差異がある場合があります。

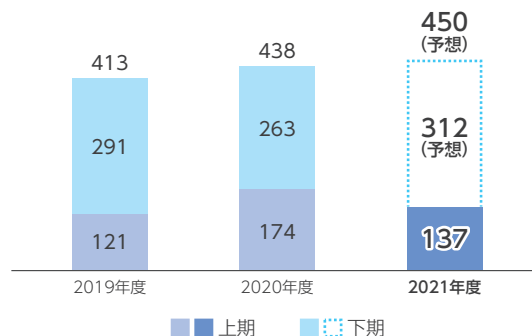
セグメント情報（連結）

	売上高		売上総利益	
	上期	通期見通し	上期	通期見通し
土木事業	339 億円 前年同期比 5.5% ▲	634 億円 前年同期比 14.2% ▼	62 億円 前年同期比 21.1% ▲	100 億円 前年同期比 25.4% ▼
建築事業	188 億円 前年同期比 1.3% ▲	445 億円 前年同期比 8.5% ▲	19 億円 前年同期比 0.5% ▲	40 億円 前年同期比 2.1% ▲
非建設事業（製造・その他）	9 億円 前年同期比 14.5% ▼	18 億円 前年同期比 21.7% ▼	1 億円 前年同期比 15.0% ▼	4 億円 前年同期比 27.0% ▲

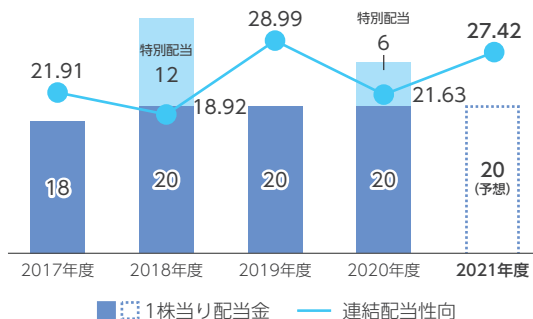
土木事業受注高（単位：億円）



建築事業受注高（単位：億円）



1株当たり年間配当金の推移（単位：円）



通期の業績見通し（連結）

受注高は、土木事業は上期で期初計画を上回ったものの、建築事業は新型コロナウイルス感染症拡大の影響等が顕在化して減少となった。通期は土木事業の好調を維持して期初計画の達成を目指す。
売上高は、上期実績は総額で期首計画を上回ったが、土木事業は予算超過、建築事業は苦戦した。通期は建築事業の巻き返しを図る。
売上利益は、上期実績で主に土木事業の原価改善及び設計変更獲得等により売上利益率が好転した。通期は建築事業の苦戦が続くが、土木事業の好転により期初計画の達成を目指す。
営業利益は、販管費の効率的運用による削減等により期初計画からの上積みを目指す。

財務情報の詳細データは
右記を読み込みの上、
ご参照ください



※本誌に記載されている業績予想は、作成時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。
※億円以下は切り捨てで集計していますので、合計に差異がある場合があります。

施工が容易で品質管理しやすい新しい脱塩工法を開発

ー線状陽極を用いた脱塩工法ー

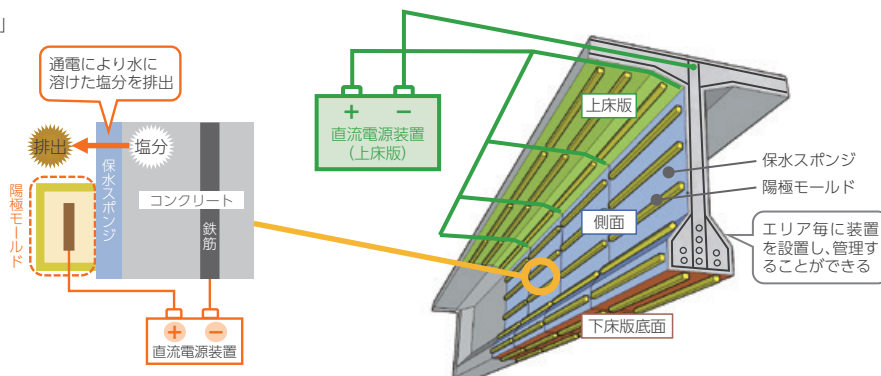
海岸付近のコンクリート構造物や凍結防止剤を撒いた橋梁では、コンクリート内に塩分が入り込むことで鉄筋が錆び、構造物が劣化する原因となります。

脱塩工法は既存のコンクリート構造物を破壊せずに内部の塩分を電気化学的な方法で構造物の外に排出する工法です。

従来は既存コンクリート内部の鉄筋に(－)側、コンクリート表面に貼り付けたメッシュ状の陽極材を(＋)側として、電流を流す方法で行われてきましたが、今般、当社が開発した新工法では、装置(陽極モールド)をあらかじめ工場で製作することで現場での施工が従来より格段に容易となり、さらに品質も管理しやすくなりました。

今後は本工法の採用を目指し、実績をつくってまいります。

「断面図」



特 長

現場施工の省力化

装置(陽極モールド)は工場で製作するため品質が安定し、現場施工の省力化に繋がる

最適な陽極配置

コンクリート内部の鋼材量に応じ、最適な陽極配置が可能

確実な通電管理

取り付けした陽極装置毎に通電量の計測ができ、詳細な通電管理が可能

環境に優しい

周辺環境への影響が少なく、産業廃棄物も最小限に(従来工法比)

interview



四国営業所長代理
兼 高知営業所長
深川 直利

■本工法の開発のきっかけは？

当社保有技術である電気防食工法の材料(チタングリッド陽極)を使用し、脱塩工法に応用しようと考えました。従来に比べ、誰でもできる簡単施工・生産性向上・環境に優しい・低コストというコンセプトを掲げ、グループで取り組みました。

■開発で苦労した点は？

本工法の陽極装置が製品として完成しかけていた時に政令の一部改正があり、材料の一部が取り扱えなくなりました。他の材料で試験をやリ直すという予想外の事態が発生し一時は意気消沈しましたが、グループ職員の努力と協力会社の協力により何とか困難を乗り越え、無事に試験施工まで終えることができました。

■今後の目標は？

まずは実施工を目標に注力してまいります。

実施工を通じ、当社だけでなく協力業者・発注者様からのご意見やアイデアを取り入れて改良を重ねることで、この工法を広く採用していただけるよう取り組んでまいります。



技術本部技術部
メンテナンス技術グループ
青山 敏幸

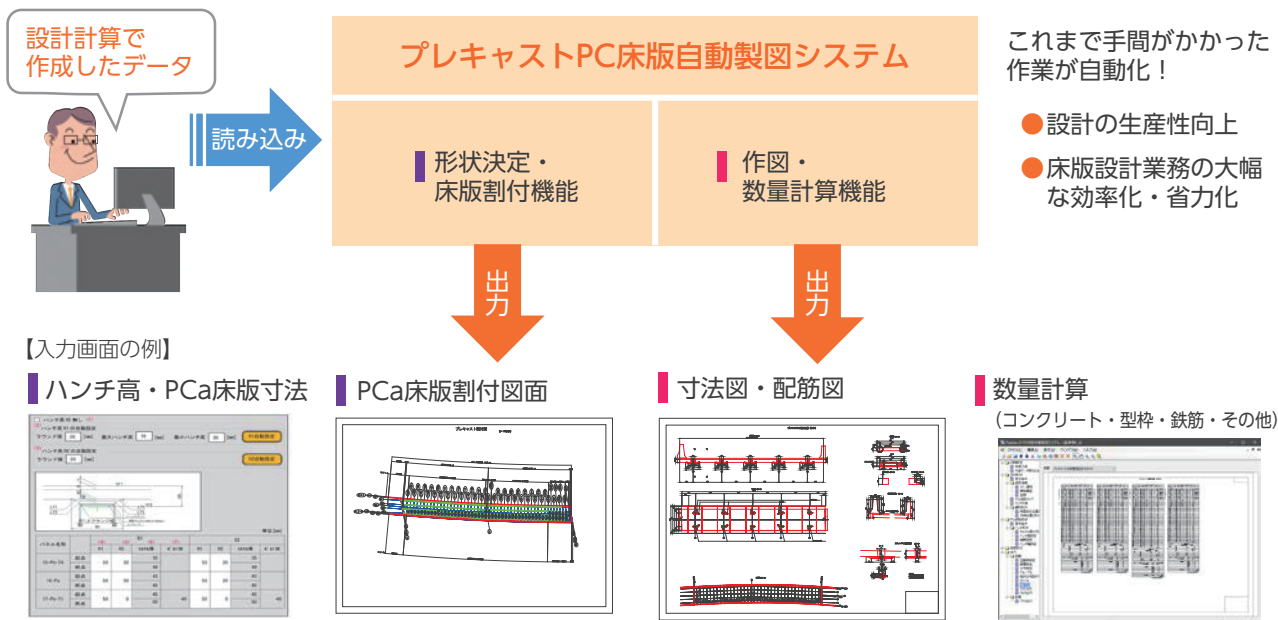
DX推進 プレキャストPC床版の自動製図システムを開発

現在、NEXCO各社をはじめとする高速道路で、老朽化した橋梁やトンネルなどに対して大規模なリニューアルプロジェクトが進められています。橋梁では劣化が進行した鉄筋コンクリート床版を耐久性の高いプレキャストPC床版に取り替える工事が進められており、当社でも現在多くの床版取替工事を施工しています。今後も多くの工事発注が見込まれることから、ICTを活用した生産性向上を目指し、JIPテクノサイエンス(株)と共同でプレキャストPC床版の自動製図システムを開発しました。

この自動製図システムでは、PC床版の設計計算で作成したデータを読み込み、プレキャストPC床版の割付け*から、床版形状図・床版配筋図までの一連の図面作成が可能なシステムです。設計データを読み込み、鋼材や鉄筋が自動配置されるため、大幅に設計の生産性が向上します。また、図面の他に鉄筋・PC鋼材等の材料の数量も連動して自動計算されるため、設計業務の大幅な効率化・省力化に貢献しています。

今後は、橋面のプレキャスト壁高欄を含めた3次元CADデータ出力機能を追加することで、床版製作や施工計画の効率化を図り、さらなるインフラ分野のDX推進に対応したシステム開発に取り組んでまいります。

※プレキャストPC床版を橋梁区間に適切に配置するため、平面形状や設置位置など検討・決定すること。
工場製品であることから、床版の製造にも配慮した形状にする必要がある。



ピーエス三菱グループの生産性向上への取り組み

当社では、中期経営計画2019で省人・省力化施工の開発と改善を推進し生産性を向上させ、収益基盤を強化させることを基本方針として取り組んでおります。現在京都で施工中の新名神高速道路城陽第二高架橋西・東において、当社グループが一体となり取り組んでいる事例をご紹介します。

01 プレキャストセグメント 工法の採用による工期短縮

下部工（橋脚）と同時に上部工（橋桁）を製作することができるため建設工事事業全体の期間を短縮することができます。また、この工事では横断勾配の異なる上・下線の橋桁をひとつの型枠で製作するなど工夫を凝らして生産性を高めています。

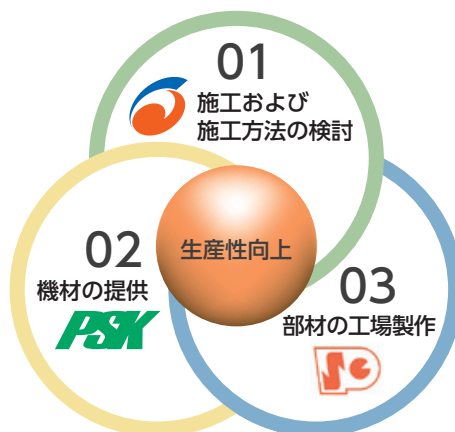


02 機材のアレンジで 実現する生産性向上

セグメント架設がよりスムーズに進められる最適な資機材を(株)ピーエスケから提供してもらうことで、工期短縮に貢献し、生産性向上が実現しています。



グループ一体となった施工体制の構築 および 生産性向上への取り組み



03 工場生産により 品質・供給の安定化

生産設備が整った工場にて部材を製作することで高品質の実現、また現場の進捗にあわせた出荷で現場内資機材の輻輳の回避に寄与しています。



新名神高速道路 城陽第二高架橋とは

新名神高速道路の京都府にある宇治田原IC（仮称）から城陽JCT間に計画された総延長2,700mの高架橋。当社は、城陽高架橋全56径間（PC32径間）のうち城陽第二高架橋東（24径間）と西（8径間）の2工区の施工延長1,432mを施工中。



工事概要

城陽第二高架橋西
発注者 西日本高速道路株式会社
橋長 396m
連続プレキャストセグメント箱桁橋（8径間）
工期 2018.8～2022.6

城陽第二高架橋東
発注者 西日本高速道路株式会社
施工橋長 1,036m
連続プレキャストセグメント箱桁橋（24径間）
工期 2019.10～2024.4

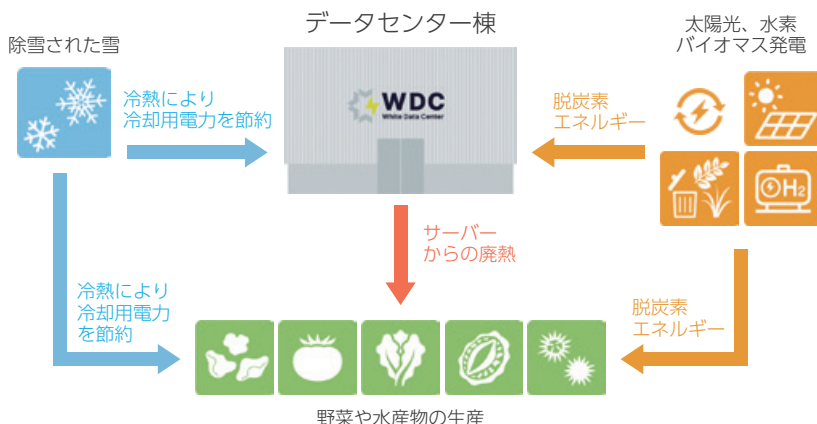


「CO2排出量ゼロ」 株式会社ホワイトデータセンターに出資

当社は、株式会社共同通信デジタル（本社：東京都港区）、東光電気工事株式会社（本社：東京都千代田区）、株式会社雪屋媚山商店（本社：北海道美幌市）などとホワイトデータセンター事業（以下「WDC事業」）を推進する株式会社ホワイトデータセンター（本社：北海道美幌市）へ共同出資し、同社は本年4月に創業いたしました。

WDC事業は「CO2 排出量ゼロ」のデータセンターとして、雪冷熱を施設の冷房として活用し、またサーバーからの廃熱と雪冷熱を空調として利用して、農産物の栽培や陸上養殖などを行います。加えて地産地消型の再生可能エネルギーの発電事業も計画しております。

除雪の冷熱と再生可能エネルギー（再エネ）を利用することで、CO2排出量ゼロを実現し、PUE*は夏期でも1.04という、国内トップクラスの省エネデータセンターとなります。今後はWDCを利用する企業がJ-クレジット*認証を受けられるよう環境を整えることで、企業のCSRに貢献します。



創業発表会

【会社概要】

社 名：株式会社ホワイトデータセンター

設 立 日：2021年4月1日

資 本 金：22,000万円

本店所在地：美幌市字茶志内3623番地10

代表取締役：伊地知晋一（株式会社共同通信デジタル代表取締役専務）

Webサイト：<https://w-dc.info/>



※PUEとは

Power Usage Effectiveness（電力使用効率）の略で、データセンター内の設備が使用するエネルギーの効率を表す指標。

計算式：データセンター全体の電力使用量 ÷ サーバー機器の電力使用量 = PUE

※J-クレジットとは

省エネルギー機器の導入や森林経営などの取り組みによる、CO2などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。創出されたクレジットは、低炭素社会実行計画の目標達成への使用や企業へ売却することが可能。（J-クレジット制度ウェブサイトより）

中米・カリブ海地域への進出

【セントルシア】

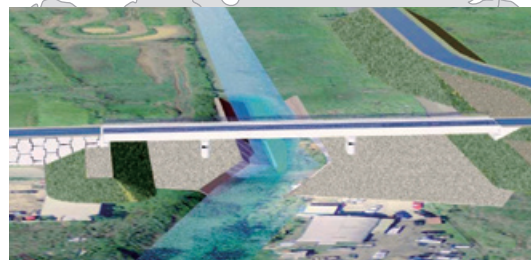
この度、日本とセントルシア間で締結された無償資金協力贈与契約に基づく「カルデサック流域橋梁架け替え計画」に参画し、当社として初めて中米・カリブ海地域へ進出いたしました。

昨今における我が国の政府開発援助対象地域の広がりを受け、橋梁に関する当社技術を活用する地域もアジアだけでなく、多様な地域へ拡大しています。

今後も様々な地域への事業展開に取り組み、より一層の海外事業拡大を目指してまいります。



カルデサック流域橋梁現橋の様子



完成予想図

CSR

「リスクマネジメントの推進」「コンプライアンスの推進」「ステークホルダーコミュニケーションの推進」「地域社会への貢献」をCSR基本活動方針に掲げ、「人と自然が調和する豊かな環境づくりに貢献する」という基本理念の実現に向けて、社会との繋がりを考えた事業活動を行っております。また、そのためのPDCA（計画・実行・評価・改善）を実践し、充実したCSR活動を行うことでステークホルダーの皆様からの信頼向上を図るべく取り組んでいます。

CSR報告書2021

当社ホームページ内の「CSR報告書」にて、CSR活動の情報がご覧いただけます。

アドレスはこちら ▶ <https://www.psmic.co.jp/about/csr/>



完成工事のご紹介・・・土木編



中国自動車道 国兼川橋他2橋床版取替工事 [広島県]

本工事は、中国自動車道の庄原ICと三次東JCT・IC間に位置し、供用後40年が経過した3橋(延長約330m)の床版コンクリート(RC床版)を撤去し、耐久性に優れたプレストレストコンクリート床版(PC床版)に取り替える工事です。

社会経済活動を支え、また災害時の緊急輸送路としての機能を担う高速道路リニューアル工事に大きく貢献しました。



市道新町・貴生川幹線 内貴橋道路整備その5工事 [滋賀県]

本工事は、当社グループ会社であるピー・エス・コンクリート滋賀工場の真横に位置する橋長165.2mのPC4径間連結コンボ橋です。(主桁は、ピー・エス・コンクリート滋賀工場にて製作されました。)

当橋梁が位置する市道新町・貴生川幹線は、滋賀県甲賀市内の防災拠点と広域陸上輸送点を結ぶ重要な路線であり、安心かつ安全な道路ネットワーク構築に期待が寄せられております。



北陸新幹線 第2田島川橋りょう(PCけた) [福井県]

本工事は、北陸新幹線(金沢～敦賀間)125kmのうち、福井県坂井市に架かる総延長348m(9連)のPC橋上部工工事です。

全線開業後は、大都市圏との移動時間が大幅に短縮されることで、人々の交流が増え、経済波及効果が期待されております。

完成工事のご紹介・・・建築編

ツルハ旭川中央ビル新築工事 [北海道]

本物件は、旭川市の中心部買物公園通り沿いに立地した、地上64m、鉄骨造17階建ての複合ビルです。(1・2階が店舗・テナント、3階～17階が全221室のホテル)

変わりゆく旭川駅前新たなシンボルとなりました。



ホテルの客室



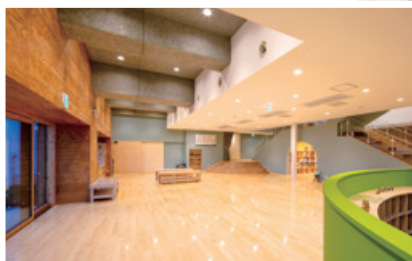
エントランス



西野桜幼稚園新築工事 [北海道]

1965年に開園した「西野桜幼稚園」では、年々増加する入園希望者に対応するため、建て替え工事を行いました。

感染症対策にも有効な、1時間に3回程度全館全ての空気が入れ替わる整流ユニット方式の空調設備を導入しています。



武庫川女子大学 景観建築学科西棟新築工事 [兵庫県] (PC工事)

武庫川女子大学に新設された景観建築学科の新校舎を上甲子園キャンパス内に建設しました。

敷地内には、旧甲子園ホテルを教育施設として活用しながら保存修繕を続けている「甲子園会館」や、当社で施工を行った建築科校舎の「建築スタジオ」があります。



本新校舎は、地上3階建て、延床面積2,670㎡で、スレンダーな柱とST床版で構成された大空間を有する建物となっています。



会社情報 (2021年9月30日現在)

■ 会社概要

商 号 株式会社ピーエス三菱
P.S. Mitsubishi Construction Co., Ltd.

設 立 1952年3月1日

資 本 金 4,218,500,000円

従業員数 単体：1,124名
連結：1,705名

本社・支店

本 社 〒104-8215
東京都中央区晴海二丁目5番24号
(03) 6385-9111

東京土木支店 〒104-8572
東京都中央区晴海二丁目5番24号
(03) 6385-9511

東京建築支店 〒104-8572
東京都中央区晴海二丁目5番24号
(03) 6385-9611

札幌支店 〒001-0010
北海道札幌市北区北10条西二丁目13番地2
(011) 717-2133

東北支店 〒980-0811
宮城県仙台市青葉区一番町一丁目8番1号
(022) 223-8121

名古屋支店 〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内一丁目17番19号
(052) 221-8486

大阪支店 〒530-6027
大阪府大阪市北区天満橋一丁目8番30号
(06) 6881-1170

広島支店 〒730-0016
広島県広島市中区鞆町13番15号
(082) 223-5092

九州支店 〒810-0072
福岡県福岡市中央区長浜二丁目4番1号
(092) 739-7001

■ 役 員

取締役および監査役

代表取締役社長	森 拓 也
代表取締役副社長	蔵 本 修
代 表 取 締 役	居 村 昇
取 締 役	小 山 靖 志
取 締 役	三 島 康 造
取 締 役	佐 野 裕 一
取 締 役	中 野 幸 正
取 締 役	加 藤 秀 樹
取 締 役	保 坂 美江子
常 勤 監 査 役	朝 倉 浩
常 勤 監 査 役	水 嶋 一 樹
常 勤 監 査 役	正 木 慎 一

(注) 取締役佐野裕一、中野幸正、加藤秀樹、保坂美江子の4氏は社外取締役であります。

監査役朝倉浩、水嶋一樹の両氏は社外監査役であります。

執行役員 (※は取締役兼務)

※ 社 長 執 行 役 員 (全股統理)	森 拓 也
※ 副社長執行役員 (社長補佐・土木本部長・ 海外事業担当兼国内関係会社担当)	蔵 本 修
※ 専 務 執 行 役 員 (建築本部長)	居 村 昇
※ 常 務 執 行 役 員 (管理本部長)	小 山 靖 志
※ 常 務 執 行 役 員 (技術本部長・安全品質環境担当)	三 島 康 造
常 務 執 行 役 員 (経営企画担当・ 建築本部副本部長)	川 原 利 朗
常 務 執 行 役 員 (東京建築支店長)	光 田 秀 幸
常 務 執 行 役 員 (東京土木支店長)	森 島 修
執 行 役 員 (大阪支店長)	藤 原 博 之
執 行 役 員 (建築本部副本部長兼建築部長)	寒 川 勝 彦
執 行 役 員 (建築本部副本部長 兼建築営業部長)	宮 岡 良 幸
執 行 役 員 (海外事業室長)	桵 谷 孝 志
執 行 役 員 (名古屋支店長)	田 原 道 和
執 行 役 員 (土木本部副本部長)	櫻 林 美津雄

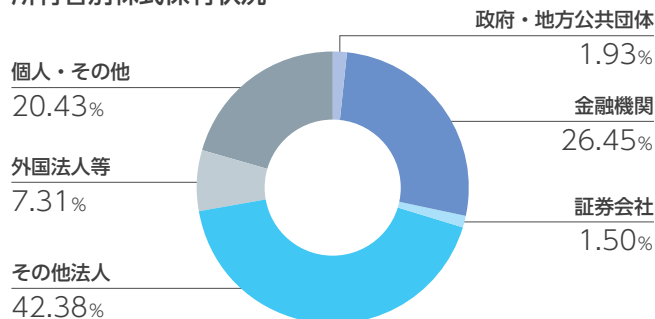
■ 株式の状況

発行可能株式総数	11,000万株
発行済株式の総数	47,486,029株
株主数	11,165名

大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
三菱マテリアル株式会社	15,860,354	33.40
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 太平洋セメント 再信託受託者 株式 会社日本カストディ銀行	4,491,300	9.45
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	3,400,600	7.16
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,895,800	6.09
住友電気工業株式会社	1,834,800	3.86
岡山県	839,740	1.76
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (役員報酬BIP信託口・75949口)	665,840	1.40
RE FUND 107-CLIENT AC	579,700	1.22
三菱地所株式会社	496,000	1.04
岩崎 泰次	467,300	0.98

所有者別株式保有状況



株主様アンケート結果のご報告

第73期株主通信において実施させていただきましたアンケートでは、大変多くの株主様にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。この貴重なご意見・ご要望を真摯に受け止め、今後の株主通信の発行およびIR活動に活かし、取り組んでまいります。

当社の株式を購入された理由 (複数回答)



充実を希望する情報について (複数回答)



ご意見・ご要望 (要旨抜粋)

- ・投資した結果が完成工事掲載のインフラやこども園のように形としてあらわれるのが嬉しい
- ・グローバルに将来まで通用する独自技術を持つ会社になってほしい
- ・DXによる生産性向上に大いに期待。一方で工事品質の担保については今後も労力を惜しまず対応してほしい

ホームページのご案内

財務・業績情報、IR資料、プレスリリース等、IRに関する情報をタイムリーに掲載しています。ぜひ、ご活用ください。

<https://www.psmic.co.jp/>



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.psmic.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
単元株式数	100株

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトに
てご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com> **アクセスコード 1871** **いいかぶ** **検索**

 **空メールによりURL自動返信** kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。
(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます

 ※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media についての詳細 <https://www.a2media.co.jp/>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」MAIL : info@e-kabunushi.com

表紙の説明



施設の老朽化に伴い、建物の長寿命化と市場棟の機能向上のため大スパン構造が可能なPCaPC工法が採用されたことにより、2分割施工して市場を継続運営し、また市場関係者の負担を軽減することができました。鳥や桜島の火山灰進入を防ぐ2階建ての閉鎖型施設となっています。

コーポレートマーク



生命の神秘である植物の発芽がモチーフです。発芽は、力強い成長を意味し、新分野・新領域の開拓を表現しています。
また、オレンジが大地（＝土木）、ブルーが空（＝建築）、全体で地球をイメージして、自然と共生する企業を具象化しています。



JPX-NIKKEI Mid Small

2019-2021年度選定



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



この印刷物は、有機溶剤等を使用しない環境にやさしい「水なし印刷」で印刷し、「ベジタブルインキ」を使用しております。また、針金を使わずに製本しております。